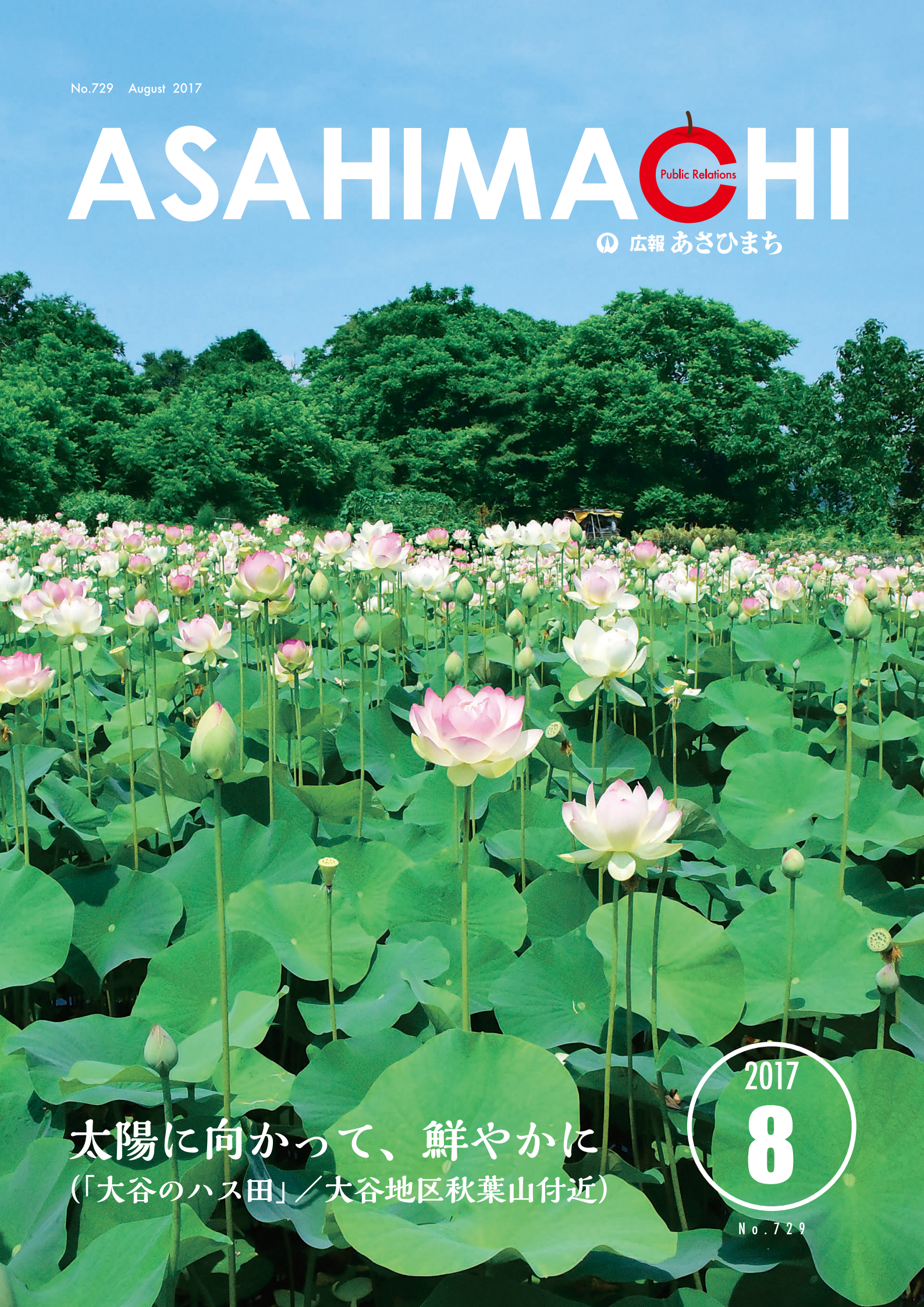
No.729 August 2017

ASAHIMACHI

Public Relations

広報 あさひまち



太陽に向かって、鮮やかに

（「大谷のハス田」／大谷地区秋葉山付近）

2017
8
No.729

町長歳時記　(133)

朝日町ワインの伝統「よいぶどうがなければ、よいワインは生まれない」

～皇太子殿下　初御来町～

7月29日午後2時過ぎ、皇太子殿下「行啓」にて、私たちの住まう朝日町の地に、初めてお出でいただき、ワイン城をご視察いただきました。

「よいぶどうがなければ、よいワインは生まれない」この考えを基本に、生産者の皆さんが一生懸命育て上げたぶどうを、朝日町ワインの醸造担当社員が真心を込めて作り上げたワイン。それが70年を超える朝日町ワインの伝統であります。歴代先輩方が築いてくださったこの歴史と伝統があって初めて、今回の「行啓」に至ったものと思います。

前日夜半の強い雨も上がり、曇り空ではありましたが、緑の芝生の上に建つレンガ色のワイン城が、鮮やかに浮かび上がっていました。それは普段とは違った息づかいをしながら、私たちを大きく包み込んでいる、そんな特別な夏の日の午後となりました。

御車を降りられた殿下は、案内人である私の方へ歩みを進められ、柔和な微笑を浮かべながら、私の出迎えの挨拶を、優しく頷きながら聞いてくださいました。さらにお出迎えの後、ワイン城内にて、施設概要を説明させていただきました。私から1メートルも離れていない極々近い場所に立たれた殿下は、私を包み込むような優しい視線で見つめられ、一語一語丁寧に私の説明を聞いてくださいました。話し手の言葉を自然に引き出してくださるようなそのご様子を目の当たりにし、「なんと話しやすいお方だろう。今までこんな経験をしたことがない」と感じ、一瞬にして気持ちがスゥーッと落ち着いていくのを実感することができました。

多くの町民の皆さんに自信と誇りを与えてくださった今回の行啓。終始和やかな雰囲気に包まれたご視察の最後のお見送り時には、多くの奉送者の方々へのお声掛けをいただき、温かい感動に包まれたところでありました。

朝日町長　鈴木洋孝

Pick Up News

今月の注目情報

目次 ◎ CONTENTS

P2 町長歳時記
P3 Pick Up News
　あさひっ子の活躍光る 各種スポーツ大会の成績
P4 特集　朝日町で見られる大朝日岳ビュースポット巡り
P8 町政スポット
　・朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価委員会
　・朝日町内交通死亡事故ゼロ連続1000日を達成
　・朝日町消防団 小型動力ポンプ付積載車等2台を更新
　・山形県消防協会西村山支部 消防操法大会
P10 まちレポ
　・第35回朝日川渓流まつり　・インターナショナルBBQ
　・第4回ジョイント宿泊体験　・大沼浮島「島まつり」
　・霹靂（へきれき）祭　・ベビーマッサージでスキンシップ
　・朝日中2年生 ウサヒ商品企画会
　・海の子・山の子交流「海のつどい」　ほか
P14 6総策定町民ワークショップふりかえり新聞
P16 健康あさひるばんざい、朝日町エコミュージアムサテライト散策、それいけ協力隊とウサヒ、町立図書館コーナー
P18 町民の声、中学生海外派遣事業 出発式
P19 戸籍のまど、となりのリンゴさん、町の主な行事・イベント
P20 皇太子殿下 朝日町ワイン城をご視察

表紙の写真

清々しい青空に恵まれた7月11日、大谷地区秋葉山北側の登り口付近にあるハス田で撮影した1枚です。このハス田は、耕作されなくなった農地を活用し、美しい景観を維持しようと地域の方々の手によって平成20年に整備されたもの。毎年7月上旬から下旬まで、美しいハスの花が辺り一面に広がります。訪れる際は、県道左沢浮島線沿いに立つ看板が目印です。

あさひっ子の活躍光る　各種スポーツ大会の成績

優勝報告のため、町長室を訪問した際の記念写真（7月24日）

7月21日から23日の日程で開催された山形県中学校総合体育大会で、剣道女子団体が優勝など、大活躍をみせました。

個人戦では齋藤とも選手（大町）が優勝、小野舞夢選手（大谷五）が準優勝で全国大会（8月18日～20日／佐賀県）への切符を手にしたほか、佐藤百恵選手（新宿）が5位で東北大会出場決定。翌7月24日に町長室を訪れ、「団体・個人ともに各々がしっかりと練習の成果を発揮し、役割を果たすことができた」と報告しました。

また、同大会では他にも柔道女子個人で若月乃朱選手（西船渡）が3位、ソフトボールが5位と健闘しました。

【剣道女子団体出場選手】
（先鋒）渡辺りりか、（次鋒）小野舞夢、（中堅）堀美宙、（副将）佐藤百恵、（大将）齋藤とも

【県中学校総合体育大会】

優勝　剣道女子団体
優勝　剣道女子個人　齋藤　とも（3年）
準優勝　剣道女子個人　小野　舞夢（3年）
第3位　柔道女子48キロ級　若月　乃朱（3年）
第5位　剣道女子個人　佐藤　百恵（3年）
第5位　ソフトボール

※剣道女子団体、齋藤選手、小野選手は東北大会・全国大会出場。佐藤選手は東北大会出場

▲佐竹萌選手（右）、若月保歩選手（左）

▲志藤大地選手

第6回東北ブロック会少年柔道形競技会が7月22日山形市で開かれ、朝日柔道スポ少の佐竹萌（常盤）・若月保歩（西船渡）組が準優勝で全国大会（10月9日／東京講道館）への切符を手にしました。技を掛ける「取（とり）」と受ける「受（うけ）」、2者の連携が問われる「形（かた）」競技。佐竹・若月組は最終10組目の発表で、緊張感を楽しみながら練習の成果を発揮しました。

7月17日にNDソフトスタジアム山形で行われた県小学生陸上競技大会では、志藤大地選手（栗木沢）が6年100mで第2位となり、東日本大会（8月5日／北海道）行きを決めたほか、長岡桃子選手（沼向）が7位に入賞しました。

【第6回東北ブロック会少年柔道形競技会】
準優勝　佐竹　萌（西五百川小6年）
若月　保歩（西五百川小6年）組

【第33回県小学生陸上競技大会】
第2位　6年100m　志藤　大地（大谷小）
第7位　6年100m　長岡　桃子（宮宿小）

知っていますか「朝日町」の名の由来

山形、福島、新潟の3県にまたがり、山形県では唯一の国立公園として、1950年（昭和25年）9月5日に指定を受けた磐梯朝日国立公園。これを構成する朝日連峰の主峰「大朝日岳」（標高1871m）の山頂は朝日町にあり、これが町名の由来といわれています。

本格的な登山が楽しめる朝日連峰

大朝日岳を中心とした主稜線が朝日連峰であり、その連なりは南北60キロ、東西30キロに渡ります。大朝日の山頂までは大江・朝日両町を出発点として合計5つの登山ルートがありますが、いずれも6時間以上を要する中級者向けのコース。6月の山開きから降雪前の10月下旬頃まで本格的な登山が楽しめます。町の花ヒメサユリをはじめとする高山植物やブナの原生林、秋の紅葉の景色など、四季折々の自然とその美しさを感じることができます。

町から「大朝日岳」を見てみよう

山は登るのが一番ですが、少しハードルが高いと感じる方もいるかもしれません。ならば、登らなくても「眺めて」町の宝である雄大な山々の景色を楽しんでみませんか。今号では町内で大朝日岳が見える「ビュースポット」を紹介します。

朝日町で見られる

大朝日岳ビュースポット巡り

紹介するビュースポットは、「朝日町から見える大朝日岳ビューポイント33」（写真右：朝日町エコミュージアム協会発行／平成24年2月）を参考にしています。

▶冊子についての問合せ先
町エコミュージアム協会 エコルーム（創遊館内）
☎0237-67-2128（月・木定休日）

※各スポットの詳細マップを町ホームページ（右QRコード）に掲載しています。

※大朝日山頂より望む朝日連峰の山々

1　白山神社境内および永林寺付近

江戸時代に徳川幕府より朱印状を賜った白山神社の境内および、南北朝時代に創建され、県内でも5本の指に入る歴史を誇る永林寺周辺から大朝日岳の姿が見えます。

所在地／大字大谷739番地付近

2　猿田越え（県道長井大江線）

大谷地区から大江町堂屋敷へ通じる猿田越えの頂上付近から、大谷の田園風景と大朝日岳を一望できます。峠の名称は、付近の申田山から付けられたといわれています。

所在地／主要地方道長井大江線道中

周辺の道草スポット　少し足をのばせば、こんな隠れた名所にも出会えます

A 最上川（五百川峡谷）あさひフットパス

「玉ノ井・川通舟運いにしえの小径」と名付けられたフットパス（原風景を楽しむ散策路）。丸いアーチ形が特徴の新・旧明鏡橋（手前が「旧」、奥が「新」）が一望できるスポットもあります。

所在地／朝日町大字玉ノ井「カヌーランド」付近

▶峯壇（上）と高木（下）の天神

B 大谷の天満宮

菅原道真が大宰府に左遷された折、側室の家族20世帯が移り住んだとの口伝が残る大谷地区。現在も「高木天満宮」「峯壇天満宮」の二天神が集落内に残ります。（かつては四天神。一つは大江町に移築され、一つは倒壊）

所在地／朝日町大字大谷地内（上記マップ参照）

3 一本松公園（能中）

日本の棚田百選にも選ばれた「椹平の棚田」を前景に大朝日岳の姿を見ることができます。初夏のヒメサユリをはじめ、四季折々の風景を楽しむことができます。

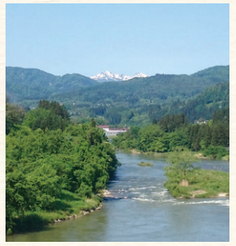
所在地／朝日町大字三中乙 231
（冬季閉鎖）

4 朝日連峰ビュースポット（林道伏辺（ふしべ）山線）

Asahi 自然観からエアートップゲレンデを越えて車で 10 分ほど走った所にあります（看板が目印）。ブナ林の奥に大朝日岳をはじめとした朝日連峰の稜線を一望できます。

所在地／朝日町大字白倉245-1
「Asahi自然観」林道奥（冬季閉鎖）

6 八天（はってん）橋



町内では唯一、最上川の流れの向こうに大朝日岳を望むことのできるスポットです。川のせせらぎを聴きながら、じっくりとその姿を眺めてみてはいかがでしょうか。

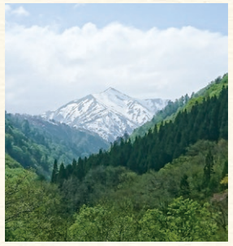
所在地／国道 287 号線四ノ沢から能中方面へ渡る道中

7 四ノ沢地区

集落の至る所でその姿を目にできます。5月上旬には写真の「逆さ朝日岳」（当誌 2014 年 5 月号表紙／287 号線沿い田園越しに撮影）のような絶景に出会えるかもしれません。

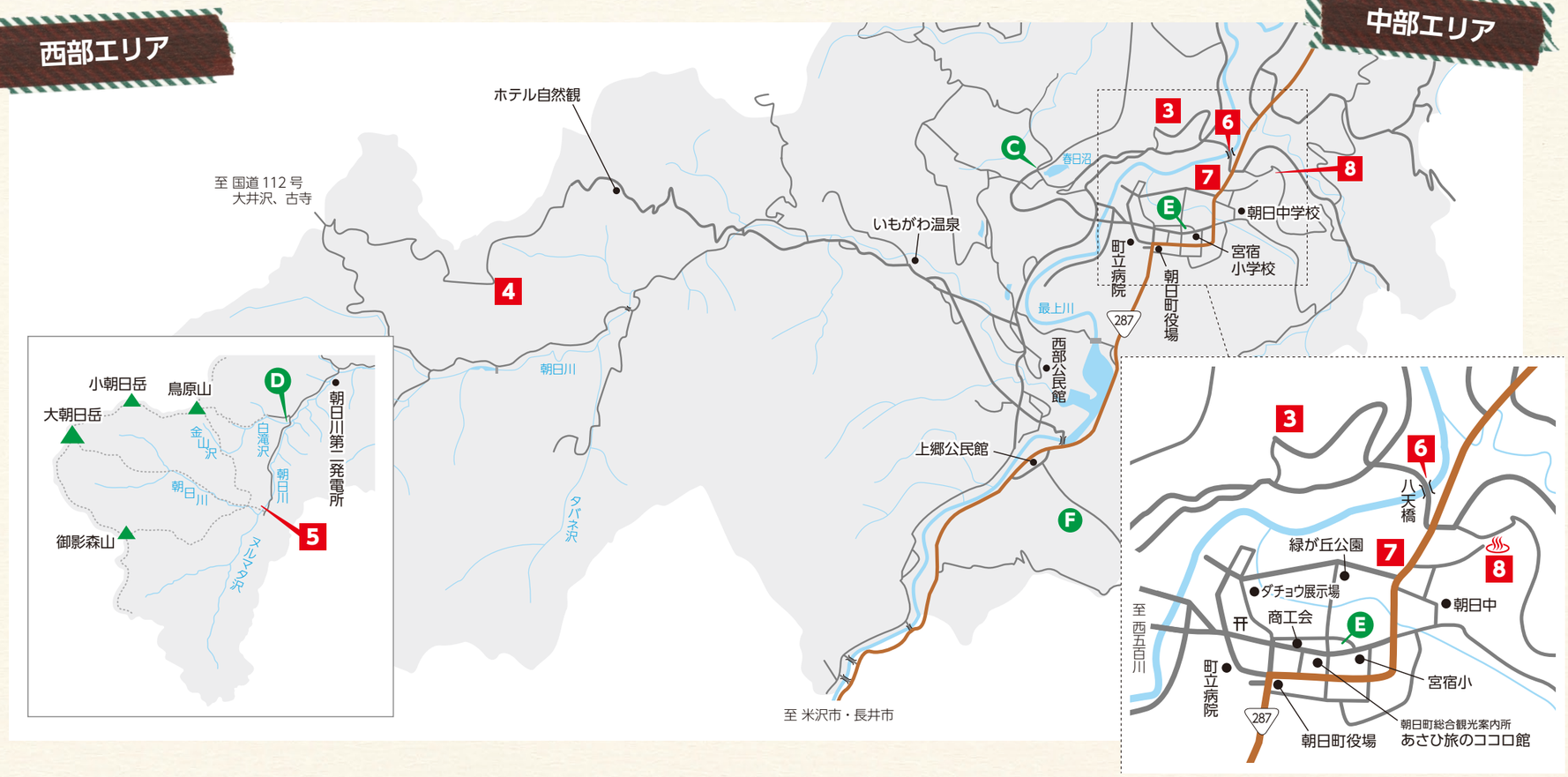
所在地／朝日町大字四ノ沢一帯

5 朝日鉱泉（ナチュラリストの家）付近



江戸末期に開湯し、湯治場として栄えた朝日鉱泉。現在は大朝日岳の登山基地です。ナチュラリストの家の展望テラスから、ピラミッド型の雄大な大朝日岳を見ることができます。

所在地／朝日町大字立木
番外地（冬季閉鎖）



＼い〜い眺め〜／

8 りんご温泉およびその周辺

眺めの良い高台に建てられた「りんご温泉」では、温泉に浸かりながら大朝日岳を一望できます。隣接する町のりんご園では、りんごの木々の間から、その姿を見られます。

所在地／朝日町大字宮宿
1353-1「りんご温泉」周辺

周辺の道草スポット

ガイドブックには載っていない「地域の宝」。近くを通りかかったら、ぜひ見ておきたいスポットです。

C ハツ沼の化け石、提灯石（ちょうちん）

ハツ沼地区に伝わる七不思議の一つ。昔、大きな化け物が弓の名手に目を射抜かれて退治され蛙（かえる）と化し、やがて大きな石となったという伝説です。提灯石はその化け物が持っていた提灯だそうです。

所在地／ハツ沼地内（大沼方面に向かう分かれ道付近に看板有）

D 白滝と沢の流れ

立木地区から朝日鉱泉に向かう道中にある白滝登山口を通り過ぎてほど近くにある橋の看板が目印。澄んだ沢の流れと、樹木の枝葉の間から、登山口の名の由来になった白滝が見えます。

所在地／朝日町大字立木番外地（上記マップ参照）

E 太子堂（たいしどう）

元は朝日岳信仰の参道がある清水（しみず）に建立されていたものが、明治 20 年頃に現在地に再建されたもの。江戸初期製作とされる聖徳太子像を中心に、稲荷様、弘法大師像の3体が合わせて祀られています。

所在地／朝日町大字宮宿（元町）地内 ※入口の鳥居が目印

F 上郷（花畑）の棚田

昔白鷹山の噴火で積もった火砕流地層から湧き出す伏流水を利用して拓かれた棚田です。地域の名称から「花畑の棚田」と呼ばれ、正面に暖日（ぬくひ）山、風切（かざきり）山、野々山と太郎地区の集落が一望できます。

所在地／朝日町大字上郷地内（詳細位置は上記マップ参照）

朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価委員会

■政策推進課 総合戦略係　☎67−2112

人口減少と少子高齢化を可能な限り抑制するとともに、希望活動人口（※）を増やし、いつまでも元気な町を次世代へつなげていくために、平成27年10月に策定された「朝日町まち・ひと・しごと創生総合戦略」。その取り組みが適切に行われているかどうかを評価する同総合戦略評価委員会が7月19日、町役場で行われました。

毎年1回行われているもので、昨年7月に続いて2回目。町民や各種関係団体等の代表者、学識経験者など8人で構成された評価委員会を中心として、町長、副町長、教育長と各担当課長が参加し、策定2年目の検証結果と評価について様々な意見が交わされました。

数値目標や達成度を記した評価シートに基づいて協議が行われた

3つの基本目標（①若者の地元定着と移住の促進を図る、②結婚・出産・子育てのしやすい環境を整える、③高齢者が生涯現役で住み続けることのできる環境を整える）を柱として、実施項目ごとにまとめた評価シートを元に協議。評価委員からは「数値目標を、計画施行後の平成32年度に実施予定のアンケート結果に委ねているものがあるが、その前に調査できるものもあるのではないか」「第3子以降の保育料が無料など、子育て環境は良くなっている。出生率の数値目標は未達成となっているが、評価は良好としていいのではないか」など、率直な意見が数多く出され、活発な会議となりました。

（※）町の将来に希望を持ち、より良い町にしようと活動する人の数

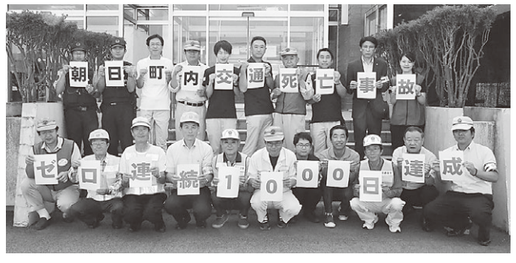
朝日町内交通死亡事故ゼロ連続 1000 日を達成

■総務課 防災係　☎67−2111

町では、平成26年10月28日の発生以降、町内での交通事故による死亡事故ゼロが続いており、今年7月24日をもって「交通死亡事故ゼロ連続1000日」を達成しました。

「記録達成は町内の交通安全関係団体をはじめ、町民一人ひとりの交通安全意識の高さの賜物と感謝申し上げる。この記録を一つの通過点として、さらなる記録継続のため、より一層交通安全の推進に努めたい」と鈴木町長。

これからもこの記録が限りなく継続できるよう、皆さまのご協力をよろしくお願いします。



【これまでの町内交通死亡事故ゼロ期間の記録】

①平成 15 年 11 月 10 日〜平成 19 年 10 月 21 日(1440 日間)
②昭和 49 年 10 月 13 日〜昭和 53 年 8 月 5 日（1391 日間）

朝日町消防団 小型動力ポンプ付積載車等２台を更新

■総務課 防災係　☎67−2111

町消防団の配備車更新に伴う引き渡し式が7月15日、朝日町役場駐車場で行われました。

このたび更新されたのは、小型動力ポンプ付積載車（第3分団第4部）と小型動力ポンプ付軽四輪積載車（第3分団第1部）。式では鈴木町長が「この新しい車両を存分に活用し、町民の安心と安全のために、より一層の活躍を期待している」とあいさつ。安全祈願の後、車両の引き渡しが行われました。

町消防団の浅岡清二郎団長（西町）は、「特に軽四輪積載車は狭い道でも運転しやすく、管轄の大谷地内を隈なく回ることができる。今後も町民の生活を守る消防団として、一層励みたい」と語っていました。

このたび更新された小型動力ポンプ付軽四輪積載車（手前）と小型動力ポンプ付積載車（奥）

山形県消防協会西村山支部 消防操法大会

■総務課 防災係　☎67−2111

消防団員のポンプ操法技術の向上と士気の高揚を目的として、毎年開催されている、山形県消防協会西村山支部の消防操法大会が8月6日、大江町中央公民館「ぷくらす」駐車場を会場に行われました。

朝日町からは、小型ポンプ操法の部に第1分団第5部（杉山・松原・宇津野・大滝／海野淳部長）と、第2分団第2部（松程・大船木・今平／阿部亨部長）が出場。約1カ月半にわたる早朝訓練にも熱が入り、操法員一丸となって日々技術を磨いてきました。

当日は気温30度を越える強い日ざしが照りつける中、両部ともに堂々たる操法技術を披露。結果、第2分団第2部が見事準優勝、第1分団第5部が優良賞を獲得しました。その頑張りに、応援に訪れた団員や町民の方々からは多くの労いの言葉がかけられていました。

第1分団第5部

指揮者	安藤秀也（松　原）
1番員	齋藤義朗（杉　山）
2番員	阿部由良（緑　町）
3番員	松尾洋明（松　原）
補　欠	佐竹大樹（宇津野）
補　欠	細谷拓磨（宇津野）

第2分団第2部

指揮者	阿部正樹（今　平）
1番員	鈴木翔太朗（松　程）
2番員	佐竹晃輔（松　程）
3番員	鈴木大輔（松　程）
補　欠	佐竹秀文（松　程）
補　欠	白田　希（松　程）

▲串焼き肉や、焼いたソーセージで作るホットドッグなど、お腹いっぱい満喫
◀お菓子の詰まった「くす玉」を割るアメリカの「ピニャータ」

7/8

海外の楽しいゲームとバーベキューを体験

インターナショナルＢＢＱ

７月８日、国際交流イベントと銘打った「インターナショナルＢＢＱ」が創遊館で行われ、小学生 12 人が、外国の食文化やゲームなどを体験しました。

町の海外派遣事業で今夏アメリカを訪問する中学生６人が主催。ハンカチ落としと似たドイツのゲームや、くす玉を叩いて中のお菓子を手に入れるアメリカのゲームなどを実践しました。お楽しみのＢＢＱでは、串焼きやホットドッグ、マシュマロを焼いてビスケットに挟む「スモア」などを食べ、外国のパーティー文化をたっぷりと楽しみました。

▲薪で沸かしたドラム缶風呂。特別な体験に大はしゃぎ
◀夕ご飯のカレーも、みんなで食べると格別の味

7/8～9

西部地区子ども会合同で行う宿泊学習会

第４回ジョイント宿泊体験

西部地区子ども会「ジョイント宿泊体験」が、７月８日から９日にかけて西部公民館で開催され、約 40 人が参加しました。西部全地区の子ども会が合同で宿泊学習を行うもので、今年で４回目。西部キッズ夏季大会「西五百川ウォークラリー」と同日開催で、子どもたちは１日一緒に活動しながら、それぞれの役割で汗を流しました。

宿泊体験の主な活動はドラム缶風呂の設営、水入れ、テントの設営や食事づくりと盛り沢山。友達と食べるカレーや、一緒に入るお風呂、花火など、普段なかなか味わうことのできない体験に、子どもたちは夢中になって楽しんでいました。

▲氏子の手によって、沼中央へ引かれる「陸奥之島」
◀神事に厳かな音色で色を添える雅楽隊の演奏

7/16

年に一度行われる「島切り」の神事

大沼浮島「島まつり」

大小様々な「島」が浮遊する神秘の沼として、信仰の対象となっている大沼の浮島。７月 16 日、同地で伝統の「島まつり」が行われました。島まつりは年に一度、湖畔から新たに「島」を切り出し、その年の吉方位にある旧国名にちなんで名前を付ける神事です。

今年の吉方位は北北西。神事は厳かにすすめられ、新たな島は同神社の最上俊一郎宮司によって「陸奥之島（むつのしま）」と命名されました。その名称が書かれた木札が立てられた島は、浮島雅楽保存会の演奏にのって氏子らの手により、沼の中央へと運ばれます。訪れた人々は、島が水面を漂う様子を静かに見守っていました。

ホームページに写真

8/6

真夏の「涼」と「漁」を楽しむ町の風物詩

第 35 回 朝日川渓流まつり

朝日町の夏の風物詩である第 35 回朝日川渓流まつりが８月６日、朝日川河川公園（立木）で開催され、家族連れやグループなど約 2,100 人の来場者が、真夏の「涼」と「漁」を楽しみました。

当日朝はやや曇りがちな天候でしたが、イベント開始の頃にはきれいな青空に恵まれ、気温も最高 33 度を上回る真夏日と、川遊びには絶好のロケーションとなりました。まつりのメインイベントは、朝日川をそのまま利用した約 300 mの浅瀬で行われる大つかみどり大会。今回用意された渓流魚は、イワナ、ヤマメ、ニジマスなど合計約 4,000 匹で、参加者は全身水に浸かりながら岩の下まで覗き込み、魚影を追いかけていました。

会場でつかまえた魚は岸辺に設置された調理場で捌き、隣接の焼き場ですぐに調理できるのがこのまつりの醍醐味です。上山市から参加の佐藤徹平くんは自分で 12 匹もの魚をゲット。炭火焼きにした川魚を頬張りながら「お母さんが朝日町出身で、家族で毎年参加しています。つかみどりのコツは、出口を塞ぎながらエラの部分を捕まえることかな」と得意気な笑顔で話していました。

▲グループに分かれてサンドアートの作品づくり。水で固めた砂を使って立体的に仕上げます
◀楽しいスイカ割りの後は、豪快にガブリ！

7/22

友好の町七ヶ浜町の子どもたちと浜辺で交流

海の子･山の子交流「海のつどい」

友好の町・宮城県七ヶ浜町と当町の小学生とで平成 14 年から毎年行われている「海の子･山の子交流事業」。その「海のつどい」が、7 月 22 日に七ヶ浜町で開催されました。

今年は大谷小の 4 ～ 6 年生 34 人と、七ヶ浜町亦楽（えきらく）小学校の 4 ～ 6 年生 22 人が参加。同町松ヶ浜海水浴場を特別に開放し、浜辺でサンドアートやスイカ割り、磯遊びや海鮮バーベキューなどを楽しみました。

最初は緊張していた子どもたちも、活動を通して次第にうちとけ、最後の「わかれのつどい」では、秋の「山のつどい」での再会を約束し、七ヶ浜町を後にしました。

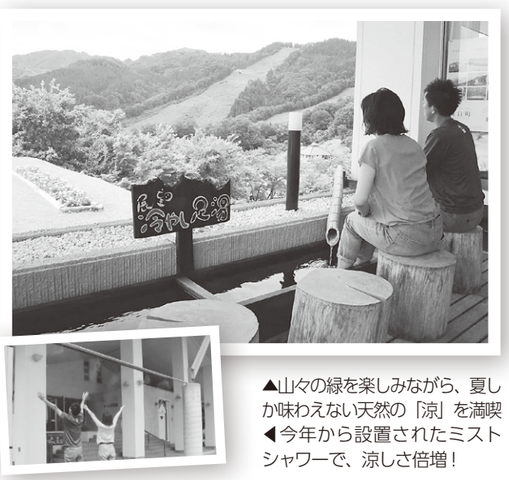
▲レシピを確認しながら、みんなで協力して調理
◀出来上がったメニュー。栄養バランスも良く、おいしそう！

7/27

初めて覚える料理もみんなで楽しんで

男の料理教室（初級コース）

町食生活改善推進協議会主催の「男の料理教室（初級コース）」が、7 月 27 日秋葉山交遊館で行われ、約 10 人の男性が参加しました。今回のメニューはひつまぶしとお吸い物、サラダに棒ぎょうざ。レシピを読み合わせ、食生活改善推進員のお母さん方にアドバイスを受けながら作ります。今回で 3 回目の参加という長岡芳市さん（太郎一）は、「難しそうに思える料理もやってみると楽しい。帰って家でも作ってみるが、自分の味付けは少し塩辛くなってしまうので、もっと勉強しないと」とちょっぴり反省。料理の試食会では、参加者全員「おいしい」と口を揃え、大満足の様子でした。次回の教室は 8 月 24 日に開催します。初めての方もぜひご参加ください。



▲山々の緑を楽しみながら、夏しか味わえない天然の「涼」を満喫
◀今年から設置されたミストシャワーで、涼しさ倍増！

7/21~

夏の暑さも、天然の湧き水で涼やかに

Asahi自然観「展望 冷やし足湯」

天然の湧き水「わさび沢の水」を利用したリラックスコーナー「冷やし足湯」。今年もホテル自然観の正面玄関脇に登場しました。

冷やしラーメン、冷やしシャンプーなど、多くの「冷やし」文化がある山形県で、新たな「冷やし」を発信しようと平成 23 年に考案されたのがこの冷やし足湯。雄大な山々を見ながら気軽に涼しさを感じることができ、自然観を訪れる方々の多くが利用しています。また、今年は新たに「ミストシャワー」も登場。足湯と同様わさび沢の湧水を利用しており、細かい霧状の水が噴き出して火照った肌を冷やしてくれます。夏の暑さはまだまだこれから。「冷やし足湯」と「ミストシャワー」は 9 月中旬頃まで無料でご利用になれます。ぜひお試しください。

▲雨にも負けない圧巻のパフォーマンスで、観客も大興奮のステージ
◀「大食い祭」の様子。納豆ご飯をかき込む出場者

7/16

開催 3 年目となる野外音楽祭

霹靂（へきれき）祭

大沼グラウンドで 7 月 16 日、野外音楽祭（フェス）「霹靂祭」が開催され、町内外から約 50 人が来場しました。

大沼区出身の小林純恵さん（大町）、郁さん（本町）姉妹が主催して 3 年目。県内外から 10 組のアーティストの参加があり、町内事業所による出店が並ぶなど会場は熱気十分。途中雨に見舞われるシーンもありましたが、緑豊かな大沼の地で、多彩な楽曲やパフォーマンスが披露されました。また今回は、ユニークな「豊作祈願大食い祭」も同時開催。20 分の制限時間内で納豆ご飯を食べ、最多の 7 杯を完食した優勝者には、賞品としてお米が贈呈されました。

▲やさしく語りかけながらのマッサージで、赤ちゃんもリラックス
◀ママたちや赤ちゃん同士が仲良くなれる機会にもなっています

7/18

赤ちゃんと優しくふれあうマッサージ教室

ベビーマッサージでスキンシップ

生後 2 カ月から 1 歳までの赤ちゃんとその保護者を対象とした「ベビーマッサージでスキンシップ」が 7 月 18 日、子育て支援センターあさひで開催され、親子 7 組が参加しました。赤ちゃんにやさしく触れることでスキンシップを図り、親子の絆を深める教室。赤ちゃん同士、保護者同士の貴重な交流の場にもなっています。生後 6 カ月のお子さんと参加したママの 1 人は、「この子の兄弟の時も参加しています。マッサージをすると適度な運動になるし、リラックスするのか、ぐっすりと眠ってくれます」と笑顔で語っていました。

当教室は年 2 回開催しており、次回は 10 月に行われます（対象のお子さんを持つ保護者へ案内状を送付します）。

▲◀学年アンケートで選ばれた上位 10 商品のプレゼンテーション。考案者が順番に前に出て、特徴や工夫した点を発表した

7/18

道の駅あさひまちとの共同企画

朝日中 2 年生 ウサヒ商品企画会

7 月 18 日、朝日中学校で 2 年生 54 人による「ウサヒ商品企画会」の発表会が行われました。道の駅あさひまちとの共同企画として、4 月から総合的な学習の時間で取り組んでいるもの。10 月 1 日に開催される道の駅 2 周年記念イベントでの販売を目指し、町ＰＲキャラクター桃色ウサヒをデザインした新商品を開発しています。

会では、学年アンケートで選ばれた上位 10 商品の考案者が 2 分間でそれぞれの商品の特徴や購買対象、工夫した点などを発表。道の駅あさひまちの高橋寿之駅長は「どの商品も売れるか・安全か・適切な値段かまでしっかり考慮してあり、すばらしい発表だった。こちらも商品化に向けて頑張りたい」と講評しました。

町民みんなで、これからの幸せをともに考える

6総策定町民ワークショップ ふりかえり新聞 4

【第4回】
日　時：平成29年6月26日（月）　午後7時～9時
場　所：開発センター2階 ホール
参加者：一般町民34名、町職員42名　計76名

PLAYBACK ワークショップ

～ 当日は、こんなことをやりました ～

町では、平成30年度から39年度までの10年間のまちづくりの指標となる「第6次町総合発展計画」策定に向け、「町民ワークショップ」を開催しています。

第4回では、前回編成した14のチーム毎に集まり、テーマ毎に取り組んでいく活動アイディアについて考えました。

ワークでは、各々が調べてきた他自治体や団体などの事例について情報を共有。それを前回まとめた模造紙に更に書き込んだり、付箋を貼ったりしながらまとめあげる作業に汗を流しました。また最後に、似た分野のテーマ同士で集まり、お互いの意見を交換・共有しました。

チーム（テーマ）ごとの活動アイディアを考えよう

～ワークショップで出た意見の一部を紹介します～

※全チームすべての意見や詳細を掲載した当新聞の完全版は、役場1階窓口入口に設置しているほか、町ホームページからダウンロードできます。

【チーム（テーマ）紹介】※似た分野のテーマ毎に色分け　①住まい ②交通 ③地域から信頼される行政のあり方　④教育 ⑤子育て ⑥農業 ⑦観光・交流 ⑧仕事の確保　⑨地区の活動 ⑩まちの賑わい創出 ⑪困りごと支援　⑫医療、福祉 ⑬健康増進　⑭その他

観光・交流

「なにもないけど ちぇっとよってげ～」

○町民が良いところを知らない、案内できない
・今ある資源を大切に活用する　・りんごや田植え、雪などを活用した体験型イベントの実施　・インバウンド、滞在型交流、参加型体験観光の実施　・町民が町の良い所を自信を持って案内できる学習　・町のイベント、旬の情報をタイミング良く発信する

住まい

○高齢者と子育て世代
・高齢者集合住宅と住宅団地の隣接
・公園、畑等でのコミュニケーション活性化
○新築と貸家
・災害に強い家、自然の恵みのある家
○空き家対策
・空き家をレンタル別荘にする　・所有者等の利活用等の考えをまとめる　・撤去への支援　・空き家バンクをわかりやすく改編

困りごと支援

○高齢者の困りごと　・除雪、ごみ出しなど、きめ細やかな対応　・同年代の人が少ない
・男性の居場所づくり
○高齢者の居場所
・子ども（見守り）とのつながり　・娯楽
○その結果
・親の安心、高齢者の生きがいにつながる

地域から信頼される行政のあり方

気持ちは一つ、一心同体＝「信頼」

○町民と行政の協働実現
・町民一人ひとりの意見を集める場や手段（懇親会等のイベント、専用窓口、飲み会等）を作る　・昔の青年団、婦人会、若者会に代わる、色々な年齢性別の意見を集約し、町を良くする会を作る　・町民全体の中で一心同体課（一心同体会）を作り、みんなの意見を集めて行政に届ける　・議員との話しやすい場づくり、議員が町民の中に入って意見をすくい上げる

健康増進

○60歳未満の現役世代をターゲットに話し合い
・若い世代からの健康づくり、健康の推進
・1年を通した楽しい健康づくり
・家庭での食事を通した健康づくり
・冬期間に体を動かせる施設（屋内型グラウンド）の確保

◆参加者の声（アンケートより一部抜粋）

▶より具体的なアイディアを考えることができた。

▶より深いところまで話をしたかったが、ここから…という所で時間がなくなってしまい消化不良だった。

▶思いが種々で意見も多種多様、まとめるのがなかなか難しいことを実感した。

▶現実的な意見がたくさん出て、今すぐにでもできることもあったので良かった。

◆ワークを終えて…【講評】

今日議論してきた中で、自分がアプローチしたい視点が見えてきたと思います。これからの10年間にわたる計画ですので、いらないこと、楽しいこと、朝日町でやるからこそ意義のあることなど、色々な考えを磨き上げて、必要な、大事な、面白いアイディアを期待したいと思います。

町民ワークショップアドバイザー（東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科准教授）
醍醐 孝典 氏

皆さんが持つ町への愛情や知識と、調べてきた他地域の事例を掛け合わせることで、いい考えが浮かんでくると思います。固定観念を外してみて、目の前にある課題だけにとらわれず、その底にある本当の課題を見つけ、それを解決するアイディアを見つけてください。

町民ワークショップアドバイザー（東北芸術工科大学コミュニティデザイン学科准教授）
岡崎 エミ 氏

◆次回予告…次号は、第5回【7月24日：チーム（テーマ）ごとの活動アイディアを具体化しよう】の様子をレポートします。

おたのしみに！

糖尿病を予防して
ヘルシーライフを目指しましょう

今月の担当 … 川村 美里　保健師

皆さんは、健康診断の結果で血糖値が高いと言われたことはありませんか。

実は、平成27年度の町の健診結果で血糖値が高いと判定された方の割合は全体の約45％で、県平均の約43％を上回る結果でした。

そこで町では、昨年度より、血糖の数値が基準値よりも高く、かつ指導が必要とされる方を対象に「ヘルシーライフ教室」を開催しています。今年6月23日に開催した教室では、町立病院の小林院長先生を講師に招き、糖尿病の予防について次のような講話をいただきました。

糖尿病の要因には「過食」「肥満」「ストレス」「加齢」「運動不足」などがあり、具体的な症状がなく、気付いたときには進行していることがあるそうです。さらに、悪化すると3大合併症（糖尿病網膜症、糖尿病腎症、糖尿病神経障害）といわれる恐ろしい病気につながる危険性もあります。

糖尿病予防には、食事と運動が重要です。具体的には「食事は野菜から食べること（血糖値が急に上がることを防ぐ）」、「1回30分～1時間程度のウォーキングを週3回以上行うこと」が効果的です。

これらを学んだ教室の参加者からは、「バランスの良い食事を心がけ、運動不足にならないようにしたい」「家族みんなで糖尿病予防に取り組みたい」という声が聞かれました。

ヘルシーライフ教室は毎月開催しています。運動不足解消のためにもぜひご参加ください。

◆直近の教室案内

○室内運動教室（ボールを使った体操等）
・8月29日（火）
・午前10時～11時30分
・開発センターホール

○ノルディックウォーキング教室
・9月27日（水）
・午前9時30分～11時30分
・秋葉山交遊館

▼問合せ先
健康福祉課 健康推進係
☎67-2116

町全体が博物館！
朝日町エコミュージアム
サテライト散策

第4回　八ツ沼城跡

【DATA】国道287号線の朝日町役場前交差点より西に入り、西船渡を経て約3㎞、春日沼ほとりから遊歩道散策 所要時間 約40分

八ツ沼集落と春日沼の間にある楯山の丘稜を利用した山城跡。文明元年に越前より原氏が一族郎党を引き連れて移り住み築城したとされ、永禄8年に最上義光との五百川合戦により落城したと伝わっています。

裏門空堀から遊歩道に入り、屋敷跡を経て山に入ると、急峻な崖を利用した段々の曲輪（くるわ）があり、本丸、旗立森（はたたてもり）、「七つ井戸」と呼ばれる柱跡等があります。東側には二重の堀切や「人見穴」と呼ばれる窪地や土塁など、中世の山城の遺構がそのままに残っています。

【おすすめの季節】6～8月、10月下旬～11月

案内人のつぶやき

八ツ沼城は永禄8年に落城したと伝わっているけど、様々な歴史や軍記の物語によると、天正12年とするものや天正9年とするものもあるんだ。また、城主も原甲斐守（はらかいのかみ）ではなく岸美作守（きしみまさかのかみ）とするものもあり、戦って討死したとするものや、降伏して最上氏に召し抱えられたとするものもあり、はっきりしたことは分からないんだよ。

それいけ協力隊とウサヒ

町地域おこし協力隊と桃色ウサヒの「中の人」こと、佐藤恒平まちづくり総合アドバイザーによる連載コーナー。日々の活動や朝日町での暮らしを語ります。

「ゲストハウス松本亭一農舎のこれまでとこれから」

移住・交流推進員（地域おこし協力隊）阪野（さかの）正義（まさよし）（川西町出身）

ゲストハウス松本亭一農舎がオープンして約半年が経ちました。これまでに163名の方が宿泊されており、宿泊を除き宿に訪れた方が706名、そのうち446名が町内の方です（7月27日現在のべ人数）。営業日数で平均すると、1日あたり3名の町内の方がこの宿に訪れたことになります。

宿泊客の内訳としては関東圏の方が多く、その次に、実は県内の方の利用が多いです。宿泊客は町の方や宿のスタッフから話を聞き、訪れるお店や観光スポットを決めるという人も少なくありません。

話は少し変わりますが、朝日町第6次総合発展計画の町民ワークショップに私も参加しています。「地区の活動」チームに入って、これからの地区・町がどうなって欲しいか、そのために自分たちや役場、関係者がどうしていくべきかを話し合っています。いよいよ今月の発表をもって町民ワークショップは締めくくられるわけですが、参加されている方からは「作ったら終わりではない」という声が挙がっています。10年後を目指してどのように活動していくか、見直しながら進めていかなければと。そして何と言っても、子どもたちが笑顔で暮らせるようにと。

松本亭一農舎にも近所の子どもたちが遊びに来てくれます。午後の時間は無料で一般開放していますが、イベントを開催するなど、町内の方にもっと訪れていただけるようにしていこうと考えています。縁がつながるということは嬉しいことです。人の縁による喜びが広がり、深まる場所になれるように、やることはまだまだ沢山あります。

▲6総策定のための町民ワークショップの様子。左から2番目が阪野隊員

町立図書館新刊案内

「今日すべきことを精一杯！ ―105歳の医師の原点―」
日野原 重明 著

105歳の医師・日野原重明が日本の医療の場に身を置いていた78歳のときに、「患者中心の医療とはどうあるべきか」について、現場で体験し考えたことを綴った書。

「全国の犬像をめぐる ―忠犬物語45話―」
青柳 健二 著

江戸時代の「魔物を退治してくれた犬」「主人のかわりにお伊勢参りをした犬」から、渋谷の忠犬ハチ公、小樽の消防犬ぶん公、盲導犬サーブ、松山の目が見えない犬ダンまで、全国各地の忠犬・愛犬の像約60体を紹介する。著者は河北町生まれ。

【ブックテーマコーナー】
「山の日」特集
～山に親しみ・山登りを楽しもう！～

【その他の新刊】
▼薫風ただなか／あさのあつこ ▼深海の寓話／森村誠一 ▼政略結婚／高殿円 ▼dele／本多孝好 ▼もう生まれたくない／長嶋有 ▼荒野に立てば十字路が見える／北方謙三 ▼茄子の輝き／滝口悠生 ▼標的／真山仁 ▼ストロベリーライフ／荻原浩 ▼犬がくる病院／大塚敦子 ▼腐れ梅／澤田瞳子 ▼怪盗桐山の藤兵衛の正体／佐藤雅美 ▼『西洋』の終わり／ビル・エモット ▼おん城主直虎3／森下佳子 ▼いつまた、君と／芦村朋子 ▼儒教に支配された中国人と韓国人の悲劇／ケント・ギルバート ▼こころの匙加減／高橋幸枝 ▼それでもこの世は悪くなかった／佐藤愛子 ▼暗闇のアリア／真保裕一 ▼さいとう市立さいとう高校野球部3／あさのあつこ ▼嵯峨野花譜／葉室麟 ▼丹野智文笑顔で生きる／丹野智文 ▼絢爛たる奔流／岩井三四二 ▼MM／市川拓司　ほか

みなさんからのおたよりなどでつくるコーナーです。

VOICE
町民の声

町に対する意見や要望、質問、提案などをお寄せください。
無記名での投書に対しては、事実関係の確認が難しく、
回答できない場合もありますので、ご了承ください。

〒990-1442　朝日町大字宮宿 1115 番地
朝日町役場 政策推進課 地域情報係 ☎ 67-2112
メール／ inform@town.asahi.yamagata.jp

町役場へのエレベーター設置 本当に必要ですか？

今年度、町役場にエレベーターを設置する予定と聞きました。どのような経緯で設置が決まったのでしょうか。

私も後期高齢者に当たる者ですが、施設利用の際も特に必要性を感じませんし、たとえば2階以上に用事がある場合は、職員がおりて来て対応すれば済む話だと思います。

エレベーターの設置につきましては、「すべての町民の皆さまに優しく、利用しやすい役場づくり」の観点から、設置を決定いたしました。

役場庁舎は開発センターと棟続きとなっており、役場以外にも同施設の利用者など、様々な方が訪れます。特に開発センター2階のホールは「税の申告相談」の会場にもなっており、大変多くの町民の皆さまが利用する場です。その際、どうしてもご高齢の方や身体の不自由な方は移動や施設利用に係る身体への負担が大きく、エレベーターの設置を要望する声が、今年度も複数件寄せられています。

様々なご意見があることは重々承知しておりますが、福祉の増進に努め、施設利便性の向上を図ることは、施設設置管理者の責務と考えております。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

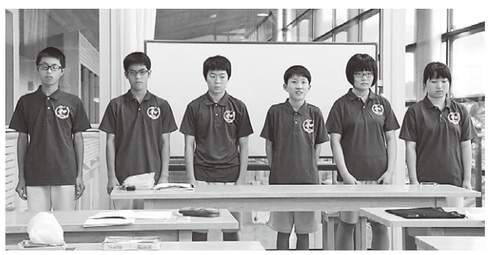
【総務課 管財係】

異文化交流を通じて世界的視野を育む
中学生海外派遣事業 出発式

グローバルな視点と柔軟な思考で幅広く活躍できる人材を育てる「中学生海外派遣事業」。2年目となる今年も、朝日中学校の3年生6人をアメリカ（ウィンザー市、デンバー市等）へ派遣します。その出発式が7月24日、創遊館で開催され、生徒たちが出発前の最終確認と決意表明を行いました。

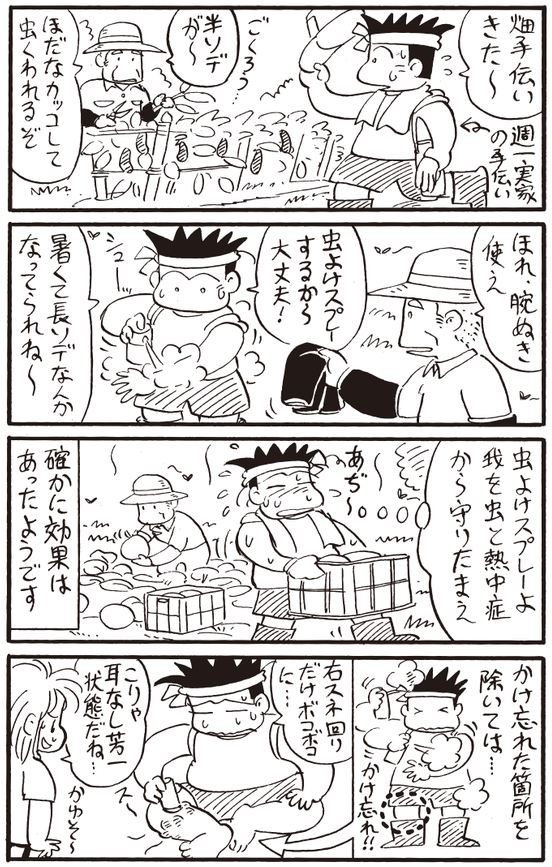
式では鈴木浩幸町長が「少々の不安と大きな希望を胸に旅立つ皆さん。これまでの勉強会を思い出し、1人でも多くの方とふれあい、友人をつくり、思い切り楽しんできてください」と激励。派遣生の堀如水くん（大谷七）は、「町の代表という意識はもちろん、日本の代表として派遣されるという気持ちで、多くのことを学び、その体験を今後に活かしていきたい」と意気込みを語りました。

派遣生6人は、7月27日から8月3日の日程の中で体験活動やホームステイなどの研修を行い、帰国後、学習会を経て報告会を開催する予定です。



▲派遣生1人ひとりが、家族の前で堂々と決意表明を行った

となりのリンゴさん (294) ホリィ



戸籍のまど

Asahi town

7月1日〜7月31日届出

Births　すこやかに

区　名	出生児氏名	性別	保護者名
大谷二	塚本 大眞（だいしん）	男	哲源・圭子

Marriages　おしあわせに

菅井元基（沼向）	♥	嶋之木彩（寒河江市）
安藤力哉（大町）	♥	芳賀美南（寒河江市）

Obituaries　やすらかに

区　名	死亡者氏名	世帯主名
小原	佐藤光也	本人
太郎三	長岡勝夫	雅彦
大町	佐竹一	本人
高田	長岡泰夫	広二
能中	志藤勝幸	勝藏
栄町	村山喜一	進
能中	伊藤正一	正博
松原	松尾清臣	貞子

掲載を希望しない場合は
届け出の際にお申し付けください

Population　人口と世帯数

●平成29年　7月31日 現在
※（　）内は先月比

人口	7,142人	（−　2）
男	3,527人	（−　4）
女	3,615人	（+　2）
世帯数	2,465世帯	（−　1）

------ 7月中の異動 ------

出生	2人	転入	10人
死亡	8人	転出	6人

（※外国人を含む）

町の主な行事・イベント
（8月17日〜9月16日）

8月20日（日）　西部地区スポーツフェスティバル
29日（火）　6総策定町民ワークショップ⑥
31日（木）　大谷風神祭

9月2日（土）　朝日中学校体育祭
10日（日）　北部地区レクリエーション大会

昨年の様子：大谷風神祭（左）、西部地区スポーツフェスティバル（右）

広報あさひまち　第729号　平成29年8月10日発行

※山形県提供

皇太子殿下 朝日町ワイン城をご視察

約1,000人の町民がお出迎え

7月29日、皇太子さまが初めて朝日町を訪れ、ワイン城をご視察されました。7月28日に総合開会式が行われた全国高等学校総合体育大会夏季大会「南東北インターハイ」にご臨席のため来県し、地方視察の一環として当町をご訪問。約1,000人の町民が日の丸の小旗を振って歓迎しました。

ワイン城では、ワイン貯蔵庫や展示・販売所などをご視察。2013年の国産ワインコンクール（現・日本ワインコンクール）で県内初の金賞を受賞した赤ワインなどを、仕込み年代別にお試しになり、色や香り、味わいの違いに感心されたご様子でした。

また、お見送りに集まった養護老人ホーム明鏡荘の利用者やブドウ生産農家などへ歩み寄り、優しくお声を掛けられる場面もありました。皇太子さまは最後まで笑顔でお手を振りながら、当町を離れられました。

春夏秋冬 編集後記

見られたら幸運な「夏の大朝日」

今号では8月11日の「山の日」にちなんで、町名の由来とも言われる大朝日岳が見えるスポットを紹介しています。車でも比較的訪れやすい場所を掲載していますので、ぜひ一度足を運んでみてください。

何気なく目にする日常の風景の中でも、際立った存在感を放つ大朝日の姿。町を優しく見下ろすような、その雄姿を見るにつけ、朝日町は大朝日岳の懐（ふところ）に抱（いだ）かれた町なのだと感じます。

でも実は今の季節、町内で大朝日岳を見るのはなかなか難しいのです。夏場は晴れても薄い膜のような雲が広がっていることが多く、私も約2週間に渡り各スポットを巡りましたが、遂にその姿をカメラにおさめることは叶いませんでした（掲載写真はエコミュージアム協会ほか、有志の方からお借りしています）。大朝日岳を見るのに一番適した季節は、空気の澄んだ春先だそうです。悔しいので、その頃またリベンジしたいと思います。　村山　彩

■発行 山形県朝日町 ■編集 朝日町広報委員会
山形県西村山郡朝日町大字宮宿1115 ☎0237(67)2111
http://www.town.asahi.yamagata.jp
■印刷 (株)若月印刷